

一般財団法人
全日本交通安全協会推薦

ズッコケ三人組の こうつうあんぜん いつも あんぜんかくにんの巻



企画意図

道路への飛び出し——子供たちは、交通社会の中で、大人には思いもよらない行動をとってしまいます。子供の飛び出し事故の最大の原因は、道路横断に関する危険予測能力が、子供には欠如している点にあると言われています。

最近の警察庁交通局の調査によると、飛び出しで交通事故に遭っている割合は、15歳までの子供が77.7%を占めています。16歳以上の歩行者の22.3%と比べてみると、子供の飛び出しがいかに多いかがわかります。

そこで、この作品では、子供たちに人気のあるズッコケ三人組のアニメーションで、飛び出しの危険性を子供たちに伝え、事故を防ぐために、交通ルールを身につけておくことの大切さを強く訴えていくものです。

映学社・リパティアアニメーションスタジオ作品

「ズッコケ三人組」シリーズ (ポプラ社刊) © 那須正幹・前川かずお・高橋信也・ポプラ社

作品の概要

1 飛び出しはダメ

宙を舞うサッカーボールを追いかけて道路へ飛び出すモーちゃん。そこへ車が近づき急ブレーキ!ドライバーに怒られ、立ち尽くすスッコケ三人組。公園のベンチで休むモーちゃんの心臓は、まだバクバクです。モーちゃんは車にまったく気がつかなかったといいます。

そんな三人組のそばをクラスのアイドル、サユリちゃんが通りかかります。そこで、サユリちゃんに道路に飛び出せばダメ、安全確認するように伝えられます。

2 道路での安全確認

「安全確認ってどうすればよいのだろう?」そのことを調べるために図書館へ向かった三人組。そこで、『守ろう!交通ルール』という本を見つけました。

サユリちゃんはこの交通ルールを守っているのだろうか、と、疑問をもった三人組は、放課後、サユリちゃんを追いかけます。サユリちゃんは、いつでもどこでも交通ルールをしっかりと守っています。三人組は、自分たちも身につけられるように何度も復習を始めました。

3 信号機の交通ルール

サッカーをして遊ぶハカセとハチベエ。突然、公園の外から車の急ブレーキの音が聞こえます。慌てて二人が駆けつけると、そこには歩道でふるえているモーちゃんが…

「実は、慌てて公園へ行こうとして、青信号が点滅している時に横断歩道を渡ってしまった」といいます。そこへ再び通りかかるサユリちゃん。三人組は、青がチカチカしているときの横断の仕方を聞き、信号機の交通ルールを正しく身につけていきます。

4 まとめ

「自分の命は自分で守る」そのためには交通ルールをしっかりと身に付けることが大切です。

そのことを学んだ三人組は、「道路では絶対に飛び出さない」「横断するときは必ず安全確認」の交通ルールを守ることができるようになりました。

いつもは慌てて道路へ飛び出してしまっていたモーちゃんも、道路を横断するときは横断歩道を渡るように心がけています。みんなで公園でサッカーをしているときも、右・左・右を見て、「安全確認、安全確認」!

企画・制作 高木裕己

藤井正和

脚本・監督 高木裕己

制作・著作

株式会社 映学社

株式会社 リバティアアニメーションスタジオ

■ ライブラリー価格 本体 ¥65,000 +税

■ 学校価格 (幼稚園・小学校のみ) 本体 ¥33,000 +税

■ DVD [カラー・約12分]

■ 2014年・映学社作品

●お問い合わせ、お買い上げは……

各都道府県・各地区交通安全協会
一般財団法人 全日本交通安全協会

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-8-13 自動車会館 7 階

TEL:050(3531)0571